基本方針５　ひとづくり

環境を守りはぐくむ人を育てる

〔将来像〕

子どもから大人までが「めぐろの環境」について学び、自発的に環境にやさしい暮らし方を賢く選択しています。一方、事業者においても環境に配慮した事業活動が浸透しています。

目黒区エコプラザが地域の環境保全活動の拠点としての役割を果たし、多くの区民や団体で連携した活動やネットワークの形成が見られ、活動の輪が広がります。

〔取組方針〕

こうした将来像を目標に、環境への気づき、環境にやさしい暮らし方の実践につながる学習や体験の機会を増やすとともに、気づきから行動へ促すことができるよう、日常生活や事業活動の中で実践できる仕組みづくりを行います。

また、環境学習等に参加した人々が、地域の環境保全活動や人材育成に携わり、環境を守りはぐくむことを地域に広げ、次の世代に伝えていく活動を支援していきます。

（イラストはイメージです）

指標の評価

☺：目標値を達成　😐：目標値に近づいている　☹：目標値に近づいていない　－：現状値を把握していない

指標項目	基準年度	基準年度末時点実績値	２０１７（平成２９）年度末実績値	目標	評価
成果指標					
環境保全に関する取組に参加してみたい又は参加したことがある人の割合	２０１６	１４.４％	１５.６％	増加	※1 😐
取組点検項目					
出前講座実施回数（☆）	２０１０	小学校出前講座 １５校７９４人	小学校出前講座 ５校２３２人 老人いこいの家出前講座※2 ３回２７人	増加	☹
		子育てママのエコ入門 １０組２０人	子育てママのエコ入門 １２６組２５６人		☺
環境配慮活動団体数（目黒区エコプラザ支援団体）（☆）	２０１０	８団体	８団体	増加	☹
環境配慮活動団体数（スイーパーズ活動団体）（☆）	２０１０	３２団体	３４団体	増加	☺
環境配慮活動団体数（グリーンクラブ、公園活動登録団体の合計数）（☆）	２０１４	１０７団体	１１２団体	増加	☺
環境推進員ステップアップ講座・交流会参加者数（☆）	２０１０	２０人	１２人	増加	☹

※1　p.７１「標本誤差について」により、数値の増加は誤差の範囲内のため、評価は「目標に近づいている」としています。
※2　老人いこいの家出前講座は、２０１４（平成２６）年度から実施。

２０１７（平成２９）年度の成果

- 「環境保全に関する取組に参加してみたい又は参加したことがある人の割合」は、基準年度末実績値とほぼ同水準で推移しており、区民の更なる行動促進に努めていきます。
- 出前講座実施回数については、子育てママのエコ入門の参加人数が増加したものの、小学校・老人いこいの家における出前講座は基準年度を下回っており、講座を活用いただけるよう周知に努めていくことが必要です。
- 環境配慮活動団体数については、現状維持または増加となっており、環境に取り組む団体が全体として増加しています。
- 環境推進員ステップアップ講座・交流会参加者数については、基準年度末実績値を下回る１２人にとどまっており、人材育成の取組への参加者を増やしていくことが課題です。

施策の目標 5-1　環境教育・学習の機会の充実

施策の進め方

地域の環境をよくしていくためには、環境保全の大切さや環境問題の現状を知り、家庭や地域の中で環境に配慮した行動を積極的に進めていくことのできるひとづくりが何より重要です。

区では、これまでにも学校版めぐろグリーンアクションプログラムの推進等、学校における環境教育や、エコプラザを拠点とした講演会や講座の開催等に取り組んできました。

今後も、学校やエコプラザを中心に、環境教育・学習の機会を幅広く提供していきます。また、地域の主体的な環境学習への支援、自主的に活動できる人材の育成を進めていきます。

●環境推進員の育成

「『わたし』から始めて『みんな』で取り組むために」をテーマとして、第１０期環境推進員養成講座を開催しました。応募者１５人のうち、１３人が受講し、１３人全員が修了しました。

<環境推進員養成講座グループ発表の様子>

●エコプラザを活用した環境学習

環境に配慮した生活を提案するため、身近な体験を通して楽しく学べる、さまざまなテーマの講座・講習会を目黒区エコプラザで開催し、参加人数は合計で2,７４４人でした。

この取組は、地域の団体、事業者、学校などと協働で企画運営しており、子どもたちの参加が増加しました。

<環境学習の内容と参加人数>　（単位：人）

講座・講習会名	参加人数
自然エネルギーを体感しよう	５００
出前講座（小学校・老人いこいの家）	２５９
子育てママのエコ入門	２５６
修理コツコツ講座	１３９
何でもつくり隊	1,２６４
打ち水・ふれあい館まつり	２９０
親子ふれあい自然体験	３６
（合計）	2,７４４

<出前講座（小学校）>

<修理コツコツ講座（包丁研ぎ）>

●環境学習機会の提供

自発的な環境活動へのきっかけとして、身近なテーマで大人から子どもまでを対象とした講演会・講座などを開催しました。

<環境学習の内容と参加人数>
（単位：人）

講演会名など	延参加人数
環境講演会	２６
消費生活講座（２講座）	５０
消費生活展	約6,３５０

●学校等における環境学習の推進

学校における環境学習活動の充実を図るため、学校全体で環境活動に取り組むための仕組みである「学校版めぐろグリーンアクションプログラム」を区立小中学校全３１校で継続して行っています。また、各校の取組に対する支援としてアドバイザーを１０校に派遣しました。

●多様な媒体を活用した環境情報の発信力の強化

６月の環境月間に、総合庁舎本館西口ロビーで環境パネル展を行い、省エネ活動・ポイ捨て防止の啓発や、環境推進員などを紹介しました。また、エコプラザニュースの発行（計１２回）など、広報の充実を図り、目黒区エコプラザの利用促進を図りました。さまざまな機会、媒体を活用して環境情報の発信力を高めました。

<目黒区エコプラザの利用状況>

利用項目	登録人数／利用件数
新規利用登録人数	１４１人
活動室利用件数	４２１件
図書貸出し件数	２３９件

◇２０１８（平成３０）年度に実施する主な施策の内容

- 目黒区エコプラザ事業として、環境推進員養成講座を実施し、地域において積極的に環境保全活動を行うことのできる人材（環境推進員）を育成します。また、講座・講習会の開催にあたっては参加者層の拡大を図っていきます。
- 「学校版めぐろグリーンアクションプログラム」をアドバイザーなどの指導のもと、より実践的な取組にしていきます。

施策の目標 5-2　環境保全活動の推進

施策の進め方

区民が環境教育・学習を通じて学んだことを活かし、地域の中で環境保全行動を実践していくことができるよう、自主的に活動する人材がリーダーとなって、地域で活躍する仕組みを整えていきます。

また、事業者も地域の一員として、事業活動における環境負荷の低減、環境への配慮に取り組んでいくことも重要です。

このため、区は、事業者への普及啓発、自主的な環境配慮行動への支援に努めていきます。

●めぐろエコサポーター制度登録者への活動支援

環境推進員養成講座第１０期修了生にエコサポーター制度を案内し、１３人中１２人が登録しました。エコサポーター制度登録者は昨年度末で９４人となっています。毎月エコサポーターに情報提供を行い、エコサポーター制度登録者が自主活動を行えるよう支援しています。

●環境に配慮した事業活動の促進

製造業、建設業、情報通信業及びものづくりにかかわる、ソフト産業を主たる事業として営む区内中小企業の国際標準規格であるＩＳＯ９０００並びに１４０００シリーズの取得に対して、費用の一部を助成していますが、申請はありませんでした。

また、環境問題について考え、省エネルギーや緑化のために具体的に行動する仕組みである、めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）を推進しました。認定会を４回開催し、更新認定が１９件、中間報告が１件ありました。

<めぐろグリーンアクション
プログラム（事業所版）
（認定事業所ステッカー）>

●自主的な環境学習の支援

環境学習の一つとして、身近な環境測定機器（騒音計）の貸出しを行いました。

また、環境学習施設として駒場野公園内に生ごみ堆肥化機械を設置しています。家庭から出る生ごみの堆肥化活動の支援を行い、利用回数は４４回と前年度と同じ利用回数でした。区民の活動が定着してきています。

<生ごみ堆肥化機械>

◇２０１８（平成３０）年度に実施する主な施策の内容

- エコサポーター制度登録者が自主的な活動に取り組めるよう支援していきます。
- 区内中小企業でものづくり事業を営む事業者に対し、国際標準規格の取得支援事業を行います。
- 生ごみの堆肥化事業を引き続き実施し、自主的な環境学習を促します。

施策の目標 5-3　ネットワークの形成

施策の進め方

　地域と地球の環境を守りはぐくむまちを実現していくためには、環境保全活動の輪を広げ、さまざまな主体が連携して取組を進めていくことが重要です。

　このため、環境推進員や環境配慮活動団体のネットワーク化を図り、環境活動に取り組む区民や団体どうしの交流、連携を促進していきます。また、区民、団体、事業者、区等が参加、話し合う場の提供等を通じてパートナーシップを構築していくことも大切です。

さらに、他地域との連携により、行政の垣根を越えてあらゆる主体が連携し、広域的に環境問題への対応を進めていくよう努めます。

●環境推進員のネットワーク化

　環境推進員が、区や団体などと協力して地域で活動していくためのステップアップ講座や、交流会などを開催して、環境推進員が協力し合って地域で活動できるように、連携を図っています。２０１７（平成２９）年度は、富士山の麓で学ぶ「生物多様性」をテーマにステップアップ講座を開催しました。

●めぐろエコサポーター制度登録者への活動支援【再掲】

p.５６参照

●地域の環境保全活動の普及および参加促進

　２０１７（平成２９）年6月１８日（日）に、エコライフめぐろ推進協会と共催で、「エコまつりめぐろ２０１７」を開催しました。参加団体数は４４団体、来場者数は約2,１６０人でした。６回目となる今回は、「わーい♪やってみようエコなこと地球環境まったなし」をテーマにさまざまなブースを設けました。区内の環境配慮活動団体や事業者などが環境問題に関する発表や展示などを行い、区民と親しく交流する場になりました。家庭に眠る食品を寄付することで食品ロスを減らす「フードドライブ」のブースには、多くの食品が持ち寄られました。

<エコまつりめぐろ２０１７>

　また、地域の環境保全活動の活性化につなげるため、幅広い環境活動に継続して取り組んでいる区民・団体・事業者を顕彰する「エコ・チャレンジ顕彰」は、２００１（平成１３）年度から開始し、今までに５６人の区民、５１団体、１３事業者の方が受賞しています。２０１７（平成２９）年度は、１事業者、１区民を顕彰しました。

<エコ・チャレンジ顕彰>

<被顕彰者の取組>

被顕彰者（敬称略）	顕彰理由
株式会社大昌電子	長年にわたり、周辺住民への奉仕として、会社周辺と通勤路の清掃活動を行い、区内の環境美化に大きく貢献した。
坂本　キク江	長年にわたり、上目黒四丁目町会内の清掃活動を行い、区内の環境美化に大きく貢献した。

●区民・団体・事業者のパートナーシップによる環境施策の推進

協働による環境保全活動の推進に向けて、目黒区環境審議会を２回開催し、環境保全施策についての情報提供や報告を行いました。また、区民や事業者などが参加し、地球温暖化対策について話し合う場となる地球温暖化対策地域協議会を２回開催しました。協議会では、「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」の進捗状況を確認し、目標に向けた効果的な取組について検討しました。

<目黒区環境審議会の開催内容>

回・開催日	内容
第１回 ２０１７（平成２９）年 ８月３日	報告事項　（１）第８期目黒区環境審議会の主な議題内容について （２）目黒区ハクビシン等の相談・捕獲処分事業の実施について （３）学芸大学駅西口屋内型喫煙所について （４）平成２９年度住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成事業の実施について 情報提供　・　４コママンガで学ぶ賢い選択の冊子の作成について
第２回 ２０１８（平成３０）年 １月１６日	報告事項　（１）平成２９年度住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成の受付期間等の延長について （２）気仙沼産バイオマス発電由来ＦＩＴ（フィット）電気の購入について （３）平成２９年度エコ・チャレンジ顕彰の被顕彰者について （４）目黒区ハクビシン等の相談・捕獲処分事業の実施状況について （５）平成２９年度版めぐろの環境（環境報告書）の発行について 情報提供　・　羽田空港機能強化の取り組み状況に関する説明会の開催について

●他地域との連携による取組の推進

「めぐろエコの森」は、地球温暖化対策におけるカーボン・オフセット[24]を展望した事業のひとつとして、２０１０（平成２２）年度に友好都市である宮城県角田市の四方山の一角に創設しました。

「めぐろエコの森」に植樹した樹木を生育させるために、生育の支障となる下草などの刈り払いを２回行いました。さらに、獣類による被害を防止するための忌避剤散布を行いました。

「めぐろエコの森」整備事業は、みどり東京・温暖化防止プロジェクトの助成を受けて実施しています。

<めぐろエコの森>

[24] カーボン・オフセット：温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット（埋め合わせ）すること。

◇２０１８（平成３０）年度に実施する主な施策の内容

- 田道ふれあい館などで開催する「エコまつりめぐろ２０１８」について支援を行います。
- 環境負荷の低減や環境保全活動のための顕著な取組を行っている区民、団体及び事業者などを顕彰し、地域における環境保全の取組意欲を高め環境と共存するまちづくりの推進を図ります。
- 地域団体と連携し、支援事業を行うことで地域活動協力者の養成を図ります。

トピックス

エコプロ２０１７へ出展しました

２０１７（平成２９）年１２月に東京ビッグサイトで日本最大級の環境展示会「エコプロ２０１７」が開催され、区はオール東京６２市区町村共同事業のブースに参加しました。

区のブースでは、「目黒区地球温暖化対策地域協議会会員の取組紹介」と２０１６（平成２８）年度に作成した「ＣＯＯＬ　ＣＨＯＩＣＥ（クールチョイス）啓発冊子」についてのパネルを展示しました。

<目黒区ブース>

トピックス

エコライフめぐろ推進協会とは

１９９５（平成７）年、区民・事業者・行政が連携してリサイクルを推進する組織として「リサイクルめぐろ推進協会」が設立されました。その後、２００５（平成１７）年に環境全般にわたる事業を行う「エコライフめぐろ推進協会」へと改称し、環境問題に関する情報の普及・啓発や環境保全活動をする区民や活動団体などへ支援を行っています。２００６（平成１８）年には、区の指定管理者となり、目黒区エコプラザの管理運営も行っています。

協会では、エコまつり、環境問題に関する講座、ホームページ「めぐろスマートライフ」によるエコライフの提案などを行っています。また、目黒区エコプラザでは廃食油やインクカートリッジなど、資源回収事業も行っています。

一人でも多くの区民が環境にやさしいライフスタイルに関心を持ち、さまざまな立場の人たちがつながっていけるネットワーク作りの拠点となる役割が期待されています。

ＷＥＢ　エコライフめぐろ推進協会ホームページ
〔ＵＲＬ〕https://www.ecolife-meguro.com/